제30회 일본어 스피치 대회 원고집

2026. 11. 11.

명지대학교 일어일문학전공

목차

1. 신동우 (일어일문학전공, 24학번) - 旅が開いてくれた新しい道

2. 방찬수 (일어일문학전공, 26학번) - 環境に身を置く

3. 김지안 (일어일문학전공, 26학번) - 田舎からソウルへ

4. 한희승 (일어일문학전공, 26학번) - 好きになるなんて、思わなかった

5. 윤필립 (일어일문학전공, 23학번) - 教室の光

6. 박지민 (일어일문학전공, 26학번) – 私の成長日記

7. 김민준 (일어일문학전공, 26학번) - 揺れながら育つ、私の大学生活

8. 허나경 (일어일문학전공, 25학번) - 言葉の謎解き、ダジャレの世界

9. 정우진 (일어일문학전공, 26학번) - 特別じゃなくても、特別な人生を送れるだろうか

10. 김애정 (일어일문학전공, 25학번) - アニメ『ハイキュー!!』にハマった理由

11. 김수인 (일어일문학전공, 22학번) - 弓道で結ばれた縁、
また仲間と弓を引く日を楽しみに

12. 류다영 (일어일문학전공, 26학번) - 日本語と付き合うこと

13. 음예진 (일어일문학전공, 25학번) - 日本人の友達とのオンライン交流

14. 김민식 (일어일문학전공, 24학번) - 人間そっくりの火星人

15. 김현호 (바둑학과, 21학번) - 私の夢は声優

16. 조수빈 (일어일문학전공, 24학번) - 無印良品スタッフの理由あるおすすめ

※ 본 원고집은 스피치 대회 경연 순서대로 게시되었습니다.

1．旅が開いてくれた新しい道

신동우 (일어일문학전공, 24학번)

みなさん、こんにちは。シン・ドンウと申します。

みなさんは旅行がお好きですか？　私はこれまでに日本へ7回行きましたが、本格的に旅行を始めてからまだ3年も経っていません。私にとって旅行とは、単なる趣味にとどまらず、人生の方向性さえも変えてくれた大切なきっかけです。

厳しい両親のもとで育った私は、20代前半まで一度も外泊をしたことがありませんでした。大学進学時も日語日文学科を希望していましたが、両親の反対により英文学科へ進学しました。

転機は2023年、入隊を控えた時期でした。両親を必死に説得し、友達と初めて大阪と京都を訪れました。見知らぬ街へ踏み出す不安もありましたが、写真でしか知らなかった嵐山や清水寺が目の前に広がり、ユニバーサル・スタジオ・ジャパンを楽しんだ感動は今も鮮明に覚えています。

もちろん順調なことばかりではなく、駅で友人とはぐれたり電車に乗り遅れたりもしました。当時の私は「はい」と「ありがとうございます」しかできなかったんですが、翻訳アプリや身ぶりを交えて助けを求め、現地の方々の優しさに救われました。この体験を通して日本の風景だけでなく、そこに暮らす人々の温かい心にも強く惹かれていきました。この初めての旅は「好きなことへの情熱」と「困難を乗り越える自信感」を与えてくれました。

帰国後、再び両親に「日語日文学科へ転科したい」と伝えました。兵役を含め約2年間の説得の末、ついに許しを得て明知大学の日語日文学科への編入に成功しました。その時の旅行が、自分の道を選ぶ勇気をくれたのです。

進学後も旅は続いています。学科の先生方のご尽力により、今年徳島県を3回訪れました。満開の桜のもとで共に過ごした仲間はかけがえのない親友になりました。それから親身にサポートしてくださった徳島県庁の皆さまの温かい笑顔は深く印象に残っています。その姿を目にしたとき、「自分も大好きな場所を多くの人に伝え、感動を分かち合える仕事がしたい」という新たな夢が芽生えました。

見知らぬ街で自ら選択し困難を乗り越える、その過程で、私たちは自分も知らなかった自分と出会い、素敵な縁を結ぶことができます。私にとってその原点が最初の旅行であり、徳島で出会った方々が教えてくれたこれからの夢でした。

旅行が私に勇気を与えてくれたように、みなさんも見知らぬ世界へ一歩を踏み出してみてください。予期せぬ困難も、自分だけの可能性や目標を見つける素晴らしいきっかけになるはずです。ご清聴、ありがとうございました。

2. 環境に身を置く

방찬수 (일어일문학전공, 26학번)

みなさんは、「不可能だ」と思ったことを、やらざるを得なくなって、やり遂げた経験がありますか。私にはあります。

入隊してすぐの新兵のとき、私は特殊部隊に配属されました。そして、四十五キロもある荷物を背負って、八百メートル級の山を登ることになりました。一日中、「もう無理だ」と思い続けました。でも、やめることはできませんでした。新兵の私には、最後まで登るしかなかったのです。そして、私は登りきりました。それは、私の意志が強かったからではありません。「やめられない環境」にいたからです。この日から、私は、人を動かすのは、意志だけではなく、環境なのだと考えるようになりました。

その後、26歳の私は大学受験を始めました。でも、それまで、私はまともに勉強したことがありませんでした。だから、一人で自習室に通うだけでは、絶対に続かないと思いました。私は、自分の意志を信じられなかったのです。だから、環境を選びました。予備校です。予備校では、入るときにスマホを預けます。まわりの人は、みんな勉強しています。勉強しないほうが難しい環境でした。私は、一番下のクラスに入りました。でも、二か月でクラスの一位を取るようになりました。担任の先生に突然、「君がクラスで一位だよ」と言われました。それまで、一位なんて考えたこともありませんでした。その言葉に、大きなプレッシャーを感じました。でも、そのプレッシャーのおかげで、もっと頑張ることができました。最後まで一位を守り、上から二番目のクラスと同じくらいの成績になりました。そして、目標にしていた大学に合格しました。

大学に入って、私は気づきました。環境は、選ぶだけではなく、自分で作ることもできるのです。一つ目は、韓国語で「모여서 공부하자」、つまり「モゴン」という勉強会です。大学のプログラムで、五人から七人が集まって勉強します。私はリーダーになって、仲間を一人ずつ集めました。リーダーなので、簡単に休むわけにはいきません。準備もしなければなりません。私は、自分から責任を引き受ける環境を作ったのです。二つ目は、今日のこのスピーチ大会です。先月、私は、日本語がまだ上手ではないのに、「できるかな」と不安に思いながらも、思い切って申し込みました。申し込んだら、準備しないわけにはいきません。そして、これからも挑戦は続けます。来年から、応用ソフトウェアの複数専攻も始める予定です。自分を変えたいとき、必要なのは強い意志だけではありません。自分が変われる環境をつくることも、大切なのだと思います。そして今、私はこのステージに立っています。

私は、意志の強い人間ではありません。だからこそ、環境を選び、環境を作ってきました。日本語が上手になるのを待たずに、申し込みました。勉強の経験がないまま、予備校に入りました。準備ができてから挑戦したのではありません。挑戦してから、準備したのです。みなさんにも、「いつかやってみたい」と思っていることがあると思います。準備ができるまで、待たないでください。まず、飛び込んでみてください。環境が、きっと、みなさんを動かしてくれます。ご清聴ありがとうございました。

3. 田舎からソウルへ

김지안 (일어일문학전공, 26학번)

みなさん、こんにちは。日語日文学専攻１年生のキム・ジアンと申します。
皆さんは今、どこに住んでらっしゃいますか。
ソウルにお住まいの方は手をあげてもらってもいいですか。
手をあげてくださったみなさんの中には、ソウル出身ではなく、ほかの地域から来られた方もいらっしゃると思います。
私も別の地域からやってきました。
私の出身地は、韓国の西海岸にある忠清南道の泰安です。きれいな海があることで知られています。
家の前には田んぼ、後ろには山があります。家の近くには何もなく、道路があるだけです。夜になると、街灯もないので、周りは真っ暗になります。そして、キバノロの鳴き声が聞こえます。キバノロは韓国語で「ゴラニ」と呼ばれる動物です。

そんなところで暮していた私ですが、今は寮に住んでいます。
長期休みには実家に帰りますが、そのたびに友達から「列車で帰るの？」とよく聞かれます。
聞いてくれるのはうれしいですが、そもそも、その質問には少し問題があります。
なぜなら、実家のある町まで鉄道が通っていないからです。
私のふるさととソウルとは交通事情がまったくちがいます。
私の家は市内から少し離れているので、市内に行くにはバスに乗らなければなりません。でも、分かるのはバスがターミナルを出発する時刻だけで、家の近くのバス停では、いつ来るか分からないバスを待つしかありません。それに、最終バスは夜８時です。友達ともっと遊びたかった高校生の私は、大人になったら絶対に運転免許を取ろうと決心しました。

でも、ソウルに来ると、考えが変わりました。バスの到着時刻も分かり、地下鉄もあるので、運転免許を取らなくてもいいかも、と思うようになりました。
しかも、ソウルの横断歩道は信号がながいです。
走れば３秒で渡れる横断歩道でも、なんと信号の青の時間が12秒もあるのです。はい、私たちの大学の前にある横断歩道の話です。
でも、私の住んでいた町では、これより３倍も長い横断歩道でも、青の時間が10秒しかありません。実は、強くなければ生き残れない町です。

ソウルでの生活に慣れたせいか、休みに実家に帰ると、最終バスが夜８時だという現実に、泣きそうになります。
地下鉄もないし、バスも少ないですが、それでもそこが私のふるさとであることに変わりはありません。
子どもの頃、初めて地下鉄に乗った時、私の町にも地下鉄があったら、もっと気軽にソウルに遊びに行けるのに、と思いました。いつか私の大切なふるさとからも、もっと気軽にいろいろな場所へ行けるようになったらいいなと思います。以上です。ご清聴ありがとうございました。

4. 好きになるなんて、思わなかった

한희승 (일어일문학전공, 26학번)

皆さん、こんにちは。日本語日本文学科1年のハン・ヒスンと申します。
皆さんは、最初は苦手だったのに、いつの間にか好きになっていたという経験はありますか。私にはあります。それはーーー日本語です。今日は私の経験をお話ししたいと思います。

高校1年生のとき、私は初めて日本語に出会いました。最初は一生懸命勉強しましたが、見慣れない文字、難しい文法に戸惑い、次第に日本語への興味を失っていきました。そして、いつの間にか日本語の勉強をやめてしまいました。1年後、どうなったと思いますか。周りの友達の日本語が、私にはもう追いつけないほど遠いものになっていました。私はとても後悔しました。「どうして、あのとき勉強を続けなかったのだろう」。私は日本語を勉強したいと思い、もう一度挑戦することにしました。周りの友達が日本語の教科書をすらすら読んでいる隣で、私はもう一度ひらがなからやり直しました。授業の内容は当然、理解できないので、先生に当てられても答えられず下を向いていました。それでも授業についていくために、教科書の日本語すべてに韓国語の発音を書いたりもしました。授業中に隣の席の友達に助けてもらうことも何度もありました。みんなが簡単にできることが、私にはできなくて、悔しかったです。それでも、私は日本語の勉強を続けました。すると、少しずつ文字が、そして文章が読めるようになりました。

あの時、私を支えてくれたものの一つが、最初は友達に勧められて、何気なく聴き始めたJ-POPでした。最初はメロディーに惹かれました。しかし、日本語の勉強を続けるうちに、以前は聞き取れなかった歌詞が少しずつ分かるようになってきました。そして、いつの間にか私は音楽に励ましてもらっていました。今でも忘れられない曲があります。SPYAIRの「MY　WORLD」です。みなさん知っていますか。「せめて前を向いて行こう　モタモタせずに」という歌詞が私の原動力になりました。
勉強が思うように進まないときや、友達と自分を比べて自信をなくしたとき、その歌を聴くと、今の自分にできることを一つずつやっていこうと思えました。

そのうち日本語の勉強が楽しくなり、気がつけば日本語が好きになっていました。そして今、私は明知大学の日本語日本文学科で日本語を学んでいます。一度、日本語の勉強を諦めた私が、今日、日本語スピーチ大会に参加しています。今、とても不思議な気持ちです。もちろん、まだ分からないことが多く難しいですが、それでも、私は日本語を学ぶことが楽しいですし、これからも学び続けたいと思っています。もし、あのとき日本語の勉強をやめていたら、今、私はここにいなかったかもしれません。あの時、諦めなかった自分に「ありがとう」と言いたいです。

皆さんにも、今は苦手なこと、自信が持てないことがあるかもしれません。でも、今できないからといって、これからもずっとできないとは限りません。今は好きではないことも、いつか大切なものに変わるかもしれません。悩んでいないで、一緒に、一歩ずつ前に進んでみませんか。
「せめて前を向いて行こう　モタモタせずに」 ご清聴ありがとうございました。

5. 教室の光

윤필립 (일어일문학전공, 23학번)

皆さん、こんにちは。 足の靱帯が切れても構わず here に来た、23 学番の 윤필립です．よろしくお願いいたします。

皆さんは、先生が教室に入られるまで、誰も教室の電気をつけなかった経験がございますか？
ほとんどの人は、電気をつけなければならないことを知っています。しかし、「誰かがやるだろう」と思うと進んで行動することはできなくなります。その結果、すごく単純な行動でさえ、自分からは始めない状況になってしまいます。

私は、この現象が大学の授業での発表でも全く同じように表れていると思います。日本語学科では、発表や質問の機会が多いですが、先生から質問をされても、学生がすぐ手を挙げることは滅多にありません。
先生たちの授業が下手だからでしょうか？ いいえ、日本語学科の先生たちの授業は、世界で最も素晴らしいと確信しています。答えがわからないからではなく、最初に手を挙げた時に周りからどう評価されるか、みたいな空気を読んでしまうからです。
「あいつ、目立ちたがり屋なのかな？」
教室では、同じような思い込みが繰り返されています。「誰かが答えるだろう」「誰かが先に発表するだろう」
みんながそう思ってしまうため、結局誰も動かなくなってしまうのです。

実際、ある研究では、授業中に大勢の前で話す時に不安を感じる大きな理由は、他人から悪く評価されるかもしれないからです。
つまり、これは学生たちの性格の問題ではありません。「責任の回避」、「評価への恐怖」に影響された結果です。
この問題は特に外国語を学んでいる学生にとって致命的です。外国語はテストで問題を解くために学ぶものではありません。実際に人々とコミュニケーションをするためです。どれだけ外国語を勉強しても実際に外国人とコミュニケーションができなければ、意味がないのではないでしょうか。
だからこそ、皆さんが「教室で電気をつける人」になるべきだと思います。

全員がいつも一番に手を挙げるべきだ、と言いたいわけではありません。「誰かがやるだろう」みたいな人任せをする前に、「今自分が動くべきではないか？」と思えばどうでしょうか。
必要だと感じたなら、どんなに小さなことでも自分から行動してみましょう。たとえば交流会で誰かと初めて会った場合でも、自分から進んで挨拶をしてみるとか。そこからすべてが始まります。
今度、暗い教室に入った際に、誰かが電気をつけてくれるのをただ待つのではなく、進んで行動する。
あなたが電気をつける時、明るくなるのは教室だけではなく、心の中もです。
その一歩を踏み出したあなたの成長にきっと繋がる。まだ電気をつけていない他の人よりも、間違いなく一歩先に進んでいるはずです。

6. 私の成長日記

박지민 (일어일문학전공, 26학번)

皆さん、こんにちは.

私は明知大学 1 年、人文学部のパク・ジミンと申します。皆さん、これを見てください。（日本語・日本文化科の과잠を見せながら）、私は日本語日本文学専攻の学生ではないですが、今日は私の「人生を変えた話」をしてみようと思います。

私は中学校に入るまで、水泳選手になることを夢見ていました。私は水泳が好きで、毎日勉強しないで水泳ばかりしていました。ところが、小学 5 年生の時に先輩たちにいじめられ、水泳クラブをやめることになりました。最終的には水泳自体をやめざるを得なくなり、勉強も水泳もできないまま中学校に進学することになりました。不幸にもコロナまで重なり、学校生活は全然絵楽しくありませんでした。結局、高校 2 年生まで全く勉強しないで、時間だけが過ぎました。「まあ、どうにかなるだろう」と思いながら、毎日友達と遊ぶだけでした。

しかし、高校 3 年の 3 月、私の人生を変える大きな出来事が起こりました。3 月の模擬試験の成績の大半が、なんと「6 等級」でした。本当にびっくりしました。「このままだと自分の将来はどうなるんだろう」と、心から焦りを感じました。その日、私は心の中で固く決意しました。ちゃんと勉強することに。

すぐには私の生活パターンは簡単に変わりませんでした。両親とも話し合って、「本当にこのままでは大変だ」と、自分自身に危機感を持たせました。その時から日常が 180 度変わりました。朝早く起きて、夜遅くまでずっと勉強しました。最も苦手だった数学もあきらめず、基礎から一つ一つ真面目に勉強しました。友達と遊ばないで、毎日自習室に行って勉強しました。思い通りに成績が上がらず、つらかったです。しかし、「絶対に諦めない」という強い意志で、粘り強く努力しました。

そして、本当に嬉しいことが起こりました。あんなに苦手だった数学の成績が、なんと「2 等級」まで上がりました！先生も友達も皆、とても驚いていました。さらに、あきらめずに努力したおかげで、明知大学に合格することができました。

この経験を通じて、私は大切なことを学びました。それは「心の中で決意を固めれば、人はいつでも自分を変えることができる」ということです。皆さんにも「自分を変えたい」と思う瞬間があるなら、遅いと思わずに努力してください。

ご清聴ありがとうございました。

7. 揺れながら育つ、私の大学生活

김민준 (일어일문학전공, 26학번)

皆さんは大学に入る前、どんなキャンパスライフを思い描いていましたか？
高校生の頃の私は、「早く大人になって、何事にも情熱的なキラキラした大学生になりたい！」とずっと夢見ていました。でも、実際に大学に入ってみると、毎日は想像していたほど華やかで楽しいことばかりではありませんでした。たくさんの選択肢を前にして迷ったり、将来への不安から立ち止まってしまったりする日の方が多かったのです。
今日は、私が大学生活で経験した「二つの悩み」と、そこから見つけた私なりの答えを、皆さんと分かち合いたいと思います。

一つ目は、「自由な時間」の楽しさと、その重みについての悩みです。
大学生になって、私たちにはたくさんの自由が与えられました。友達と遅くまで遊んだり、アルバイトをして自分でお金を稼いだり、自分磨きや恋愛をすることもできます。でも、できることが多すぎるからこそ、「自分は全部中途半端なんじゃないか」と不安になることが増えました。正解がないからこそ、就職や将来のこと、自己管理のことで頭がいっぱいになり、悩んでいるうちに一日が何もできずに終わってしまうこともありました。「自分の選んだ行動に責任を持たなければいけない」と思うと、一歩を踏み出すのが怖くなってしまったのです。しかし、今はこのたっぷりある自由こそが、「自分の選択に責任を持つ練習」だと思えるようになりました。決められた正解がないからこそ、社会に出る前の今、自分が本当に好きなことややりたいことを、じっくり探すことができる貴重な時間なのだと気づきました。

二つ目は、「たくさんの人との交流」の楽しさの裏にある、自分自身の不在です。
大学に入って新しい出会いが増え、みんなと過ごす時間はとても楽しいです。けれど、みんなとわいわい楽しく遊んで一人部屋に戻ってきた時、ふと、胸の中にぽっかりと穴が空いたような虚しさを感じることがありました。その日を振り返ってみると、「周りと気まずくなりたくない」「嫌われたくない」という思いから自分の気持ちを隠してしまい、相手に合わせることに精一杯でした。そこで私は、人に合わせてばかりいるのではなく、まず自分の気持ちにじっくり耳を傾けてみることにしました。「自分自身を大切にしながら相手のことも尊重する」、そう考えるようになってから、以前よりもずっと心地よく、成熟した人間関係を築けるようになってきたと感じています。

皆さん、私たちはみんな、自由すぎて不安になったり、周りに合わせすぎて疲れてしまったりすることがあります。でも、その悩みは、私たちが大人へと成長している証拠だと思います。進路に迷ったり、自信が持てなくなったりした時も、自分を責めないでください。今の悩みはすべて、素敵な大人になるための大事な経験です。私の話が、皆さんにとって、少しでも励ましになれば嬉しいです。

ご清聴、ありがとうございました。

8. 言葉の謎解き、ダジャレの世界

허나경 (일어일문학전공, 25학번)

皆さん、こんにちは。日語日文専攻二年生のホ･ナギョンです。
突然ですが、皆さんは、日本語の「ダジャレ」を聞いたことがありますか。例えば、「布団が吹っ飛んだ」。今笑ってくれた方、ありがとうございます。笑わなかった方も大丈夫です。まだ始まったばかりですから。ダジャレは、同じ音や似た音を使った言葉遊びで、韓国の「アジェギャグ」にも似ています。初めは「え？」と思っても、後からじわじわ面白くなることがあります。ある日、YouTubeで日本のバラエティー番組で、芸人さんのダジャレを聞きました。
最初は面白さが分かりませんでしたが、意味や発音を考えるうちに興味を持つようになりました。今日はその魅力をお話しします。

日本語には、同じ音なのに意味が違う言葉や、少し音が似ている言葉がたくさんあります。ダジャレは、その音の重なりを笑いに変える言葉遊びです。
例えば**、「アルミ缶の上にアルミカン」**
皆さん、想像してください。アルミ缶の上に、ミカンが一つ。……それだけです。でも声に出すと、「アルミ缶」と「あるミカン」、そっくりに聞こえませんか。
初めて聞いたとき、私は「あるミカン」を方言か何かだと思い、「そんな言い方があるの？」と不思議でした。でも意味が分かった瞬間、「ああ、そういうことか！」と笑ってしまいました。では、次はどうでしょう。

「イルカはいるか？」　「いくらかけても電話に出んわ」　「いくらはいくらでも食べられる」
「このカレー、辛れー！」……皆さんは、どれが一番好きですか。

ダジャレは、耳で聞く小さな謎解きです。「何が面白いの？」と思っても、音と意味がつながった瞬間、「ああ、そういうことか！」と笑いが生まれます。音の似た二つの言葉に気づけば、謎解き成功です。学び始めた頃は分からなくても、発音や意味を知るほど、前には気づかなかったダジャレが見えてきます。分かったときは、日本語が身についた合図かもしれません。 もちろん、すべてが大爆笑とは限りません。「今のダジャレ、何なの？寒っ」と言われても、その寒さまで楽しむのがダジャレです。

ダジャレは、言葉の音や意味に目を向けさせてくれます。ですので皆さんもお気に入りを見つけて、日本の友達に使ってみてください。どんな場面で使うかは……私にも、ちょっと想像できませんけどね。今日の発表で、皆さんがダジャレに少しでも興味を持ってくださったらうれしいです。最後にもう一つ**。「カエルも帰える。私も帰ります」**

ご清聴ありがとうございました。

9. 特別じゃなくても、特別な人生を送れるだろうか。

정우진 (일어일문학전공, 26학번)

皆さんは、特別な人になりたいと思ったことがありますか。子どものころの私は、他の人とは違う、特別な人になりたいと思っていました。テレビに出る有名人や、歴史に名前を残した人たちのように、多くの人に認められたいと思っていました。私は小さい頃、サッカー、水泳、バスケットボール、ピアノなど、いろいろなことをしていましたが、何をやってもうまくできました。自分で言うのは恥ずかしいですが、勉強もよくでき、先生や親からよくほめられました。
特別な努力をしなくても、友達よりうまくできたので、いつの間にか「自分はほかの人とは少し違う」と思うようになりました。でも、努力してもうまくできなかったら、そんな自分が否定されるような気がして、努力するのが怖かったのです。

中学生ぐらいになると、私よりうまくできる人が次々に現れました。最初は簡単にできたことも、だんだん難しくなりました。私はそれを受け入れられませんでした。努力しなくても何でもできる、そんな天才のままでいたかったからです。だから、「これは自分には合わない」「ほかに、もっとうまくできることがあるはずだ」と言って、いろいろなことをやめてしまいました。その時は新しいことを探しているつもりでした。でも今思うと、自分が思っていたような天才ではないという現実から、目をそらしていたのかもしれません。
今も、新しいことを始めると、できないことばかりです。最近勉強を始めた日本語も、ずっとやってみたかったデザインも、思っていたよりずっと難しいです。「ああ、これにも才能がないのか」と、自分にがっかりすることがあります。
自分が特別な人ではないことは、もう分かっています。それでも、心のどこかでは、まだ特別な自分でいたいのかもしれません。そんな自分が、少し情けなくなることもあります。

でも、昔と変わったことが一つあります。今は、うまくできないという理由だけで、好きなことをあきらめたくないのです。皆さんにも、上手ではなくても、好きだから続けたいことがありませんか。
昔は有名な人や、すごいことをした人にあこがれていました。でも今は、有名でなくても、一番でなくても、自分の好きなことを大切にしている人が、かっこよく見えます。
私は長い間、「どんな人になりたいか」ばかり考えていました。でも、「どんな毎日を送りたいか」については、あまり考えてきませんでした。今でも、その答えが見つかったわけではありません。これからも失敗して、自分にがっかりすることがあると思います。

それでも、今日、まだ上手ではない日本語で、皆さんの前に立っています。これも、私なりの小さな挑戦です。
昔の私は、特別な自分を守りたくて、挑戦をやめました。
でも今は、特別な人になれなくても、自分の人生まで特別ではないとは限らないと思っています。
だから、これからも自分の好きなことを大切にしながら、挑戦を続けていきたいです。
才能は選べなくても、生き方は選べます。
ご清聴ありがとうございました。

10. アニメ『ハイキュー!!』にハマった理由

김애정 (일어일문학전공, 25학번)

皆さんは、好きなアニメありますか。私は、ファンタジー、成長物語など、ジャンルを問わず、さまざまなアニメを見ます。 その中でも、特に印象に残っていた人生作品があるので、皆さんに紹介したいと思います。フルダテ・ハルイチさんの漫画を原作としたアニメ、『ハイキュー!!』です。

私が『ハイキュー!!』に夢中になった理由は、好きなキャラクターたちが成長していく姿にあります。スポーツアニメによくある「主人公のチームが必ず勝つ」というクリシェもありません。だからこそ、試合に負けて涙を流す姿を見ると悲しくなりますが、その悔しさを持って成長していく姿がとてもかっこよく、いつの間にか作品に引き込まれていました。

そんな『ハイキュー!!』の中で、私が一番好きなキャラクターは、ツキシマ・ケイです。 ストーリーの初めは、ほかの部員に失礼な 言葉をすることもあり、 あまり 好きではなかったキャラクターでした。しかし、ストーリーが進むにつれて、その態度の背景には、バレーボール部の活動に対する迷いや疑問(ぎもん)があったことが分かります。そんなツキシマが、相手チームのエースのスパイクをブロックしたことをきっかけに、バレーボールに本気で向き合うようになります。その姿に、私も強く感情移入するようになりました。この名シーンは、ぜひアニメで見ていただきたいです。実は、『ハイキュー!!』には、このように心を動かされる名シーンがたくさんあります。その中でも、今でも 印象に残っているシーンがあります。タナカというスパイカーは、相手のブロックに何度も止められ、点を取られてしまいます。そして、自分の「普通」について考えるようになります。他の部員たちと比べて、特別な才能を持っていない自分は、とても普通の人間だと思うようになります。それでも、そこであきらめるのではなく、自分の限界を超えようという気持ちでスパイクを打つ姿が、とても印象的でした。一緒にこの名シーンを見ましょう。（動画）どうですか？私が好きなキャラクターではありませんが、このシーンはかっこいいと思いました。

皆さんは、好きなことに夢中になって、 普段は考えもしなかったことに挑戦した経験はありますか。 私の場合は、『ハイキュー!!』をきっかけに、バレーボールの大会に出場したことがそれに当たります。最初はただの興味だったので、サークル活動としてバレーボールを楽しむつもりでした。しかし、いつの間にか『ハイキュー!!』のキャラクターたちがバレーボールをする中で感じる悩みや苦労を、 私も考えるようになりました。そして、彼らのようにもっと上手にスパイクを打ちたいと思い、悩んでいる自分にも気づきました。このように、『ハイキュー!!』はいつの間にか、私の生活の大きな一部になっていました。

『ハイキュー!!』は、キャラクターやストーリーが面白いから見るだけではなく、私にとって、つらい毎日を乗り越える力をくれた、大切な作品でもあります。だからこそ、今日このスピーチ大会で、私の人生の中で一番好きな作品を皆さんに紹介することになって嬉しいです。皆さんも、毎日の生活が疲れたとき、明日を生きる力をくれるアニメ、『ハイキュー!!』、どこですか？時間があるときに、ぜひ一度見てください。
では、これで発表を終わります。ご清聴ありがとうございました。

11. 弓道で結ばれた縁、また仲間と弓を引く日を楽しみに

김수인 (일어일문학전공, 22학번)

皆さん、こんにちは。今日は、私が留学中に弓道部で経験した成長と、そこで出会った大切な縁についてお話したいと思います。私は日本に行く前から、日本の伝統文化に興味がありました。子どもの頃、『犬夜叉』というアニメで巫女が弓を射る姿に魅力を感じ、弓道を始めました。実際の弓道部での生活は、想像していたものとは少し違いました。最初は日本の文化を気軽に体験するつもりでしたが、弓道部では大会を目指して真剣に練習に取り組んでいました。「礼に始まり礼に終わる」という言葉のとおり、時間や出席を守ることはもちろん、先輩や後輩との礼儀も大切にされていました。最初はその厳しい雰囲気に戸惑うこともありました。

その中で特に印象に残ったのは、部員たちの弓道に対する姿勢でした。弓道場では礼儀正しく挨拶を交わし、講義の合間にも練習に励んでいました。また、弓や矢を大切に扱い、雨の日には丁寧に管理するなど、道具を大切にする姿も印象的でした。さらに、みんなで的を作ったり、互いに足りないところをアドバイスしたりする姿から、弓道に対する真剣な思いが伝わってきました。このような姿を見て、弓道は単に的に当てるための技術だけでなく、道具や場所を大切にし、仲間を尊重することが大事だと気づきました。初めて巻藁の前で弓を引き、離れを経験しました。矢を放った瞬間は、言葉では表せないほど気持ちの良いものでした。その瞬間、他人と比べる気持ちもなくなり、上手くやらなければというプレッシャーよりも、弓道をもっと続けたいという気持ちが強くなりました。その後、全日本学生弓道選手権大会の予選にも参加しました。本選には進めませんでしたが、自分で弓を引き、的に当てることができたことがとてもうれしく、ますます弓道に夢中になりました。

練習を続けているうちに、部員たちとの関係も少しずつ変わっていきました。最初は日本人と外国人という壁を感じていました。しかし、私が真剣に練習に取り組むようになると、部員たちも積極的に弓道を教えてくれるようになりました。空き時間にも一緒に練習し、次第に普段の生活や悩みについても話すようになりました。そのとき、私はもう外国人留学生という立場を越えて、同じ目標に向かって頑張る弓道部の一員として受け入れられたのだと感じました。部員たちの勧めもあり、弓道の「地方審査」、いわゆる昇段試験を受けました。審査では礼儀作法だけでなく、日本語の筆記試験にも合格する必要がありました。難しい専門用語や作法を覚えるのは大変でしたが、みんなが練習動画を見て射形を教えてくれたり、筆記試験の漢字も一緒に勉強してくれたりしました。審査当日も、雨の中、鎌倉まで応援に来てくれました。慣れない環境での挑戦でしたが、仲間の支えが大きな力になりました。その結果、無事に初段に合格することができました。合格したこともうれしかったですが、それ以上に、私のために時間を作り、支えてくれた仲間の温かさが心に残っています。

私は日本に行く前、自分にできることに精一杯取り組もうと決めていました。弓道に挑戦し、上達しないときも諦めずに練習を続けたことは、その目標を達成するための大切な経験でした。そして、そこで得たものは弓道の技術や初段という資格だけではありません。同じ目標に向かって努力し、慣れない環境でも家族のように頼れる仲間に出会うことができました。今は留学を終えて帰国しましたが、また日本で一緒に弓を引こうと約束をしています。日本での生活はいったん終わりましたが、そこで生まれた仲間との絆は今も続いています。私にとって弓道は、

単に日本の伝統文化を体験した活動ではなく、一生忘れたくない大切な縁を与えてくれた、特別な経験です。また日本に戻り、仲間と並んで弓を引く日を楽しみにしながら、私の発表を終わりたいと思います。最後まで聞いてくださり、誠にありがとうございました。

12. 日本語と付き合うこと

류다영 (일어일문학전공, 26학번)

皆さん、はじめまして。私は明知大学日本語日本文学科の1年生、リュ・ダヨンと申します。ここにいらっしゃる方のほとんどは同じ日本語日本文学科の方だと思います。つまり、私たちは皆、日本語を学んでいるということですね。ところで、日本語を学んでいる皆さん。皆さんにとって、日本語を学ぶというのはどのような感覚でしょうか？皆さんの心の中で思い浮かべた答えを、私が知ることはできません。言葉は、口に出さなければ伝わらないからです。私は、言語を学ぶということは、新しい人と出会うことだと思います。私には、言語がまるで一人の人間のように感じられます。言語にもそれぞれ個性があり、実際に学んでみると、自分に合うものもあれば、合わないものもあります。その言語自体が、実際の人々や文化に触れるためのより身近なきっかけになったり、助けになったりすることもあります。私は言語が好きです。私は物語が好きです。ですから、私が新しい言語に興味を持つきっかけは、たいてい「物語」なのです。

そんな私が初めて作品に触れた日本の作家は、芥川龍之介でした。小学校の図書室で『蜘蛛の糸』に触れたのが、最初だったはずです。当時は作家の名前に興味がなかったので、きちんと確認はしませんでしたが。芥川龍之介という作家の名前に触れたのは、中学生の頃でした。そして私は、芥川の作品が好きになりました。
極めて淡々とした語り口とは裏腹に、繊細な描写と愛情を込めて綴られた作品群――そうした点が気に入りした。高校時代には、好きな日本人作家として、芥川龍之介に続いて、三津田信三が加わりました。ただ、ホラーミステリー作家なので、怖い話を読む勇気が出ない日には、なかなか手が伸びません。最初に読んだ三津田の作品は、あろうことか、読者までもが怪異に巻き込まれてしまうような結末でした。現在は絶版になっている書籍ですが、作家さんのSNSによると、近々韓国でそのシリーズが再翻訳され、再出版されるそうです。三津田の作品は、民俗学の要素を取り入れたホラーミステリーが特徴です。しかし、私がそれ以上に惹かれたのは、アジアの歴史に向けられた独自の視点です。私のおすすめである『黒面の狐』では朝鮮人の強制徴用が扱われています。

芥川龍之介と三津田信三は、私が日本語を学ぶ最大のきっかけとなった方々です。私は芥川という作家を通じて日本文学に初めて関心を持ち、三津田の作品に触れる中で、関西地方、特に奈良地方にいつか一度行ってみたいと思うようになりました。こうして私は、日本語日本文学科に進学しました。入学面接で述べた志望理由は、三津田の未翻訳作品を自分で翻訳してみたい、それだけでしたが。読んできた本、聴いてきた音楽、触れてきた文化――そうした、自分で覚えているものも覚えていないものも、あらゆる事柄が積み重なって、今の私をこの場所まで形作ってきたのだと思います。言語を学ぶというのは、こういうことではないでしょうか。もう少し

多くのものに触れ、もう少し多くのものを積み重ねて——たとえそれがどんなに些細なことであっても——誰かを知っていき、自分自身を築き上げていく。まるで人間関係のように。

私はこれからも、日本語さんと親しくなれるよう努力するつもりです。
最初に投げかけた質問をもう一度して、締めくくりたいと思います。
皆さんにとって、日本語を学ぶというのはどのような感覚ですか？
以上です。ご清聴ありがとうございました。

13. 日本人の友達とのオンライン交流

음예진 (일어일문학전공, 25학번)

みなさんこんにちは。私は日語日文科2年生の음예진です。私は今日、高校生の頃から今まで連絡している日本人の友人とのオンライン交流活動について話そうと思います。この友達と交流したのは、他国の生徒と交流した初めての経験でした。この交流は距離の壁を越えてお互いを理解できるようにしてくれました。これは私にとって特別なプレゼントをもらったようなものでした。会話パートナーの名前は神谷彩緒衣（かみやあおい）。私はパートナーだったあおいとオンラインを利用していろいろな活動をしました。一番記憶に残った活動はあおいとブイログを製作したことです。あおいのブイログには日本の大学生の登校している姿、授業の時間、文化活動など多くのものが含まれていました。それは私に新しい視角を持つようにしてくれたし、日本の魅力を発見するきっかけになりました。また、ブイログを通して私たちが異なる環境で育ったにもかかわらず、共通の関心事と経験が共有できる、つまり私たちは環境は違っていても本質は同じだということをお互い感じるようになりました。

最初は画面を通じてパートナーとおしゃべりするときは緊張からかぎこちない空気が流れていました。しかし時間が経つうちに、一緒に対話しながら笑っている時間が長くなりました。私たちはお互いの関心事と日常を共有し、非常に興味深く意義深い時間を積み重ねていきました。私たちの共通の関心事は音楽でした。あおいの大学では学校の祭りでK-popを扱うなどK-popが浸透しています。韓国の有名なアイドルについて私よりよく知っているあおいに感心し、またそれが嬉しかったです。私も有名な日本のアーティストとアニメを通じてJ-popによく接したのでお互い、好きなJ-popを聴かせあった楽しい思い出があります。

私があおいと話して、学校生活で一番印象的だったのはクラブの種類が多くて生徒たちが部活動に熱中していることです。韓国では、高校は週に3時間、大学は完全に自由で熱中するというよりは趣味として楽しむ傾向が強いです。しかし、日本の学校では、ほとんどの学生がサークルに入って熱中し、大会にもよく参加するということに驚きました。あおいの大学のクラブの中でカルタ部が一番印象に残りました。私も高校生の日本語の授業で百人一首をしたことがありますがあおいの大学のカルタ部は私がやったカルタより熾烈な戦いで迫力がありました。私は今喜という農業クラブで活動していますが、機会があれば日本の大学を訪問してカルタ部などのクラブを直接、体験してみたいです。

オンライン交流の経験は私にもっと広い見識を持たせてくれ、多様な文化の人々と出会って学びたいという私の中に眠っていた情熱を呼び起こしました。あおいとの交流は私にとってかけがえのない思い出になると確信しています。
遠く離れた友人ですが、直接会わなくても、私のようにビデオ通話をしたり、ブイログを共有したりするなど、オラインでも十分に交流できます。
もし日本人の友達が作りたいけれど、なかなか踏み出せなかった方がいましたら、オンラインを活用してみてはいかがでしょうか？私は絶対におすすめします。
以上です。ご清聴、ありがとうございました。

14. 人間そっくりの火星人

김민식 (일어일문학전공, 24학번)

皆さん、こんにちは。「人間そっくりな火星人」について発表する、キム・ミンシクと申します。発表の前に、皆さんに一つお伝えしたいことがあります。皆さん、注目してください！この発表は、何かを主張するためではなく、皆さんに質問をするためのものです！それでは、発表を始めます！まずはこちを見てください。写真の中の男性が、誰なのかご存じでしょうか？いや、そもそも男性なのでしょうか？もしかしたら、人間ではないかもしれません。いや、もしかしたら火星人かもしれない。いきなり何を言い出すんだ、と思われるかもしれませんね。すみません！　私の説明が足りませんでした。

私は普段から本を読むのが好きです。そして、絵を見るのも好きです。表紙が気に入った本なら、とうぜん、読んでみたいと思っています。9月、他の人のカカオトークのプロフィールを見ていたら、偶然、クァク先生のプロフィールで一冊の本を見つけました。表紙が気に入ったので、すぐ買って読みました。その本が、安部公房の『人間そっくり』です。まだ読んでいない方のために簡単に紹介すると、この本には主人公と田中が登場します。田中は自分が主人公のファンだと紹介します、そしてこう言います。「私は人間そっくりの火星人です。」その後、本は、自分が火星人だと主張する田中一郎の言葉は本当なのか、という疑問を投げかけます。

さて、なぜ私が最初に写真について質問したのか、分かりましたか？最初、私は「田中が火星人だなんて、ありえない。」と思っていました。しかし、その確信はだんだん揺らいでいきました。そこで、一つの疑問が浮かびました。私は、田中が火星人ではないと、なぜ確信できるのでしょうか？もちろん、田中が火星人だという主張を簡単には信じられません。では逆に、彼が火星人ではないと完全に証明できるのでしょうか？例えば、火星人が地球人とまったく同じ姿をしていたら、私たちは本当に見分けられるでしょうか？　また、今まで見たこともない動物が発見されたとき、「そんな動物がいるはずがない」と言えるでしょうか？もちろん、これらの例が田中の主張を証明するわけではありません。しかし、自分が知っている常識だけですべての可能性を否定することはできないと思います。そう考えて、私はもう一つの疑問を持ちました。私たちは、本当に何かを100%確信できるのでしょうか？もし完全に確信できないのなら、自分の考えに少しくらい疑いを残しておくべきではないでしょうか？私は、二つの考え方があると思います。え,一つは、自分の判断が正しいと100%信じること！もう一つは、自分の判断が間違っている可能性を、1%でも残しておくこと！

もちろん、何もかも疑いながら生きていくことはできません。また、田中の主張を何も考えずに信じればいい、という意味でもありません。大切なのは、何でも信じたり、何でも否定したりすることではなく、自分が間違っている可能性を少しでも残しておくことではないでしょうか？それでは、皆さんはどう思いますか？100%確信することが正しいのでしょうか？それとも、1%を残しておくことが正しいのでしょうか？もし、1%を残すとしたら、本当に1%だけでいいのでしょうか？皆さんもぜひ、『人間そっくり』を読んで、考えてみてください。では、最後の質問です。私は地球人でしょうか、それとも人間そっくりの火星人でしょうか？
以上です。聞いてくださってありがとうございました。

15. 私の夢は声優！

김현호 (바둑학과, 21학번)

皆さん、こんにちは。私は囲碁学科4年のキム・ヒョノと申します。。本日は私の夢、『声優』についてお話しします。私は韓国の有名な声優ナム・ドヒョンさんの配信を見たのがきっかけで、声優に憧れるようになりました。その配信で声一つで様々なキャラクターを演じる声優さんの姿を見て、「うわぁ、かっこいい！私もやってみたい」と思って勉強を始めました。

声優を目指してはいるものの、実は韓国の声優採用試験は本当に狭き門です。2026年現在、声優を採用している放送局は4つしかありません。KBS、EBS、デギョ、テウォン。そして、今年度男性の採用枠は、全国でたった6人だけなんです。それに、倍率は2000倍に達します。まさに超ハイレベルな超難関です。これらの放送局で「専属期間」を経て初めて、韓国声優協会に 正式に加入することができます。
これほど高い倍率だからこそ、演技力より基本的なことで合否が分かれます。特に、 演技力と同じくらい重要なのが「発音」です。 韓国語の「連音化」や「濃音化、流音化」を正確に発音しなければなりません。その上、KBSはラジオドラマ、EBSは教育放送局であるため、「音の長短」を重く見る傾向があります。한국はダメです。한-국とちゃんと発音する方がいいと言われました。

そうした影響のせいか、いつの間にか「職業病」のようなものが身についてしまいました。 まだプロの声優ではないので、「職業病」と呼ぶのは少し照れくさいのですが、韓国語の発音が正確でないと、つい「耳がビクッ」と反応してしまいます。例えば、빛이, 부엌에, 끝을の場合 비치, 부어케, 끄틀と発音するのが正しい発音ですが、비시, 부어게, 끄츨と発音されるとき、“え？ 発音、正確じゃない“ と一人で考えるくせがあります。でも、これは私が声優を目指しているからこそ、気にする部分であって、日常会話では、意味さえ伝われば、大きな問題にはならないと思っています。なので、こういう発音を聞いても心の中で考えるだけで、実際に「あなたの発音、間違ってますよ！」なんて 指摘したりはしません。 ただ、一人で考えるだけです。

次に私が普段どのように練習を重ねているかについて簡単にお話します。私と同じアカデミーに通っている友達と一緒にアニメやゲームの吹き替えをして練習します。今まで作った作品を紹介します。1機動戦士ガンダムダブルオー、この作品でわたしは‘レイフ・エイフマン’と‘エキストラ’を演じました。少し年齢が高めのキャラクターだったので、演じるのが難しいかったです。そして、ビースターズで‘サヌ’、“夏へのトンネル、サヨナラの出口”で案内放送をする駅員、サンナビというゲームで様々なキャラクターも演じました。これ以外にはナレーションとか広報、いろんなことを練習します。フルの映像は時間がないので、ここですべてお見せすることはできませんが、もしご覧になりたい方がいらっしゃいましたら、後でわたしに声をかけてください。そして、もし「声」が必要な場面がございましたら、いつでもお声がけいただければ幸いです。

声優試験に合格するのは、非常に険しい道ではあるため、可能性は低いかもしれませんが、30歳までは挑戦し続けたいと思っております。以上で スピーチを終わります。ご清聴ありがとうございました。

16. 無印良品スタッフの理由あるおすすめ

조수빈 (일어일문학전공, 24학번)

皆さんは無印良品って言うブランドをご存知ですか？もう半年以上無印のスタッフで働いてる私のおすすめのものを紹介しようと思います。もし興味がある方や何か買ってみたいと思ってた方は参考にしてください。最初にスタッフで入社して先輩たちからおすすめされたものを紹介します。まずは歯ブラシのポーチ！これは本当にスタッフみんなが使ってるんだと自信を持って言えます。サイズはLを買って歯磨き、舌クリーナー、歯ブラシなどを全部入れてみてください。私はシリコンのカップまで入れて歯磨きの時顔とか服が濡れないように使ってます！持ち運びにも便利だしマッシュの素材なのでかわきやすいです。無印は文房具も有名です。ボールペンみたいなペンは入社する時マネージャーさんから入社プレゼントでもらいましたが、書きごこちがとても良くて自分のお金でも違う色にボールペンをいっぱい買いました。色んなペンの中でも1番のおすすめはコンパクトノック式のボールペンです。実際注文書を書く時にもお客さんから聞かれたりお母さんも使って見て一緒に使ったりする周りからも人気なものです！

人気商品についても本当のしようレビューも話したいんだと思います。まずは日本でもスキンケアの人気1の発酵投入美容液です。私は入社前から実際使ってたので面接の時にもこ美容液について話しました。もう使ってるスキンケアのルーティンの前に塗るだけでその効果が上がるアイテムなので本当におすすめです。そして今アプリ限定で再入荷した開けやすいナイロンポーチがあります。人気なのはSサイズですが自分はLの方がおすすめです。よく旅行に行く方や普段は簡単なメイクて出かけて後でメイクをする方にもいいです！カバンの中をスッキリさせます！

次は日本と韓国どっちで買ったらお得か？についてです。服はどんな国でも同じ値段なのでまだ韓国に入荷してないもの以外は韓国に買っても大丈夫です。メガネ拭きや衣類(いるい)クリーナみたいに小さい生活用品は日本の方が安いしキャリーケースに持って帰ることも簡単だから日本の方がお得だと思います。韓国限定のものはほとんと食べ物です。その中で日本人とか外国人の方にプレゼントやお土産のおすすめします。1番人気はミニヤッカです！一つずつ個包装(こほうそう)されてるのでお土産として最高です。その以外にもブロックじょうのスープも大人気です。私の好みのお菓子はとうもろこしお菓子の辛い味とか、キムチ味のぬるんじとかかあります！

最後に、あまり知られていない、お店で買い物をするときに役立つ情報を紹介します。一つ目は、ラストピースの割引です。お店に残っている在庫の数や商品の状態などによって、一部の商品が割引になることがあります。対象商品や割引率はお店によって違うので、見つけたら早めに買うのがおすすめです。そして、無印良品をよく利用する方には、「無印良品週間」もおすすめです。無印良品週間は、全商品を10%割引したお値段お得に購入できるキャンペーンです。引っ越しなどで家具や生活用品をたくさんて買う予定がある方は、この期間を確認してみるといいと思います。私は無印良品で働く前からこのブランドが好きでしたが、実際に働いてみて、さらに愛着がわきました。いい商品を見つけるたびに自分でも使ってみたくなりますし、周りの人にもおすすめしたくなります。
今回紹介した商品や情報が、皆さんの無印良品での買い物に少しでも役立てばうれしいです。
以上、無印良品のスタッフによる実際の使用レビューでした。 ご清聴ありがとうございました。